

# 静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2002. 6. 12

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）松本（国府小）福井（伊島小）

## 【昆虫の定義をなぜ教えるのか】 福井

ひねくれた考えで皆を困惑させる福井ではありますが、今回は何のために昆虫の定義を教えるのかと言いついた訳であります。ご存知のように昆虫は①体が頭・胸・腹の3つに分かれている、②脚が6本である、③羽が2対あると定義されており、3年生で学習するようになっていきます。しかし、なぜ昆虫と他の虫を区別する必要があるのか、子供達にとっての必然性はあるのか、福井は40年生きてきて、そんな知識が一度も役に立ったことないぞ！ だいたいクワガタなんてどう見ても腹から脚が出ているようだし、カメムシなんて体が2つにしか分かれていないようだぞ！ クワガタの胸は前胸・中胸・後胸に分かれているだなんて、自分が観察したことより定義を優先する詰め込みを理科でやってよいのか！ …などと吠えたわけです。皆さんの反応は、自然界にいる雑多な生き物をいくつかの視点で分けることができるなんて面白いことじゃないか、でした。

## 【ビオトープが自然破壊？】 高松

姫路市水族館はとても熱心で毎年各学校にカレンダーと案内、しおりなどを送ってくれます。そのなかにビオトープについて書かれたものがありました。総合的な学習の時間の環境学習でビオトープ作りに挑戦する学校が多くあるが、その地域に元々いない動植物を持ってくるのはやりすぎではないか。雑草園や池をつくり、そこに訪れる動植物を継続的に観察するのがビオトープのあるべき姿ではないか、というのが趣旨でした。

## 【電池の工作】 松本

今、電池の学習をしているが、ものづくりの中からプラスとマイナスの極について子供が自然に気付くことはできないかと松本先生。竹とんぼをモーターにつなぎ発射するしないで電池の向きに気付かせる案、モーターの軸にひもを巻き付け電池を入れ替えることでエレベーターを上下させる案が出されました。

## 【回転偏光板】 福井

高松先生持参のキーホルダーはやはり偏光板を利用しており、同じ原理でアニメーションが作れそうです。写真は大型の回転偏光板。昔、OHPで使われていました。

## 【コーヒーペン】 福井

3月に実験交流のため台湾へ行ったとき東呉大学の先生に頂いたペン。エーテルが入っていて、指の熱でコーヒーサイフォンのように液が上がりコポコボと言う。アイデア・グッズ。

【組み木の材料】 高松 小黒三郎さんの組み木を作るのに100円ショップのまな板がGOOD! です。

